

京大病院医療安全情報 123

【 外来受診・検査 】

事例 ①

入院中で酸素4ℓ中の患者が歯科外来受診に来られた。酸素の残量を確認したところ、残圧が5Mpa未満で、酸素ボンベ交換範囲であった。

事例 ② -1

シリンジポンプのアラームが鳴ったため見に行くと、薬液の残量がなかった。その場ですぐに病棟へ電話連絡して、病棟看護師がシリンジの更新をすることになった。

事例 ② -2

予定MR撮影予定の患者。高濃度ヘパリンのシリンジポンプと心電図モニター電極装着のまま、看護助手により車椅子で来棟。

事例 ③

外来待合廊下からポンプアラーム音が聞こえたため外来看護師が見に行った。入院中他科依頼で診察待ちをしていた患者の血小板輸血終了アラームであった。

事例 ④

当日緊急でCT単純検査のオーダーが入り、時間設定をして呼出しをした。患者は移動が困難で身体を密着して介助を行っていた。検査終了患者退室後に「T-SPOT陽性患者」と連絡があった。

インシデント報告に基づいた対策です

京大病院医療安全情報123

入院患者の外来受診・検査は 出棟～帰室までの安全確保が大切です

出棟の際、
このシリンジポンプは
外していいよ

看護師さん
今日は〇時出棟予定
だから、時間薬調整
しよう



病棟医師



病棟看護師

呼出ありましたが、
輸血が終わってから
でもよいですか

出棟前に看護師
に確認してもら
おう！



看護補助者

確認項目

外来受診・検査時の条件

①	酸素ボンベ	残量90分以上 ※ 歯科口腔外科外来の医師診察室には中央配管がありません ※ 90分もたない場合は予備酸素ボンベ持参、一旦帰棟等
②	輸液ポンプ シリンジポンプ 1) 輸液 2) バッテリー MR検査は、必ず外す (ただしMR対応ポンプは可)	原則ロック(無理なら残量計算で90分以上あること) バッテリーランプ ・ 3個で約80分以上 ⇒ 出棟可 ・ 2個で約1時間 ⇒ 「ポンプ外す」「ポンプ交換」「充電ケーブル持参」など(状況による) ・ 1個 ⇒ 「ポンプ外す」「ポンプ交換」など
③	輸血	副作用への対応が遅れる可能性あり、輸血なしの状態での出棟する ※ やむを得ない場合は、出棟先と相談する(輸血終了後への時間調整、診療科医師または看護師が付き添う、など)
④	感染症	対策が必要な感染症は事前に出棟先に連絡 (接触感染・飛沫感染・空気感染など)